

名作うしろ読み 補綴

名作の出だしの一文は覚えているけれど、ラストの一文は意外と覚えていないのではありませんか？
 しかも、そんなふうには解釈されちゃうかも！と驚いてはもう作品も一つや二つではありません。これを読んで後、もう一度、名作を読み返そうと思えますよ。

午前零時のオドリコン

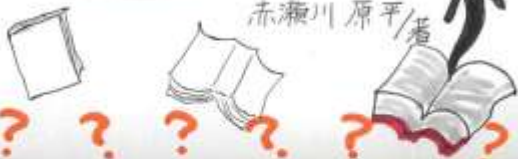
相沢沙呼

不思議な雰囲気を持つ女の子。
 実は、導航のマジンだった。
 学校で巻き込まれた不思議な事件と、接群のマジックテクニックと駆使して鮮やかに解決する。
 そんなおこぼれ人間関係には臆病な心を開かしてしまおう...

新解さんの謎

辞典の【例文】を読みふけってしまったこと、ありませんか？「新明解国語辞典」の例文から生き生きと浮かび上がる人物像「新解さん」に出逢ってみてください。

赤瀬川 原平 / 著



壬生義士伝 上下

浅田次郎

映画にもなっていますが、映画に出て来ない子供達の話。その夜ごと描かれています。
 2~3回泣けるお話です。

怪しい店

有栖川有栖

「有栖川有栖の本っていっぱい出ているし、今から読むのにどれを選べばいいかわからない」と思っている方にぜひ紹介したい、エッセイの本だと思います。
 「不思議で怪しいお店」をテーマに集められた短編集ですが、いままでのシリーズと読んでいなくても楽しめる話ばかりです。

悪女について

有吉佐和子

有吉佐和子に堅いイメージを持たれている方はこれを一読してみてください。三十年以上も前に書かれたとは思えない程、古くを感じさせません。現代版『藪の中』です。

トリツカレ男

いしじんじ / 著

遠まわりの事だって 失敗した事だって、人生にムダな事なんて ひろくちなりと思わせてくれる 大人のための童話です。おかしな、切ない、ラブストーリー。

美しき一日の終わり

有吉玉青

突然現われた異母弟への想い。姉として、時には母親のようにやがて一人の女性として……。とてつもない「恋愛？」の物語です。

こんなにも優しい世界の終わりの方

市川拓司

“小説を読んで最後に泣いたのはいつですか？”
 というコピーに惹かれて書店で思わす手にした一冊。
 世界の終わりが近づくとばかり登場人物たちとゆるやかな
 優しく美しい愛の物語がやわらかく遠く通るような
 文章で描かれています。ページを捲くごとに
 涙が伝はる。心から溢れ出る感動が止まりません。

レストランアモーレ

井上喜久

姉と弟で切り盛りする
 東京目黒のレストラン。
 各章に一見するとふしゆいで、
 くらげやメニューが
 ちりばめられているか
 イケメで見たらしく

弟と弟の恋愛、姉と
 弟との師匠、松崎さんの
 店、行方。その中、姉と弟に
 関する人物たちの出会いと別れと
 相対していい感じに仕上がっている。
 夕は香にも懐かしい。

流しのしたの骨

江國香織

ちょっと変わった6人家族のお話。
 特に大まな事件が起るわけでもなく、淡々と
 日常が過ぎていくなかで、ちょっと不思議で奇妙な
 やりとりが幸せな宮城家をつづけています。
 ほんとは日常。大切な事をあらためて感じさせてくれます。

新宿鮫

大沢在昌

映画を見ているような臨場感で
 ハードボイルドにはまるきりわくわくした一冊。
 旧式のシルダーバック型携帯電話が
 改造拳銃としてでてくるあたりが時代を感じる…。
 その後の全シリーズ一気読みしました。

家日和

奥田英朗

ネット不クションにはまる専業主婦。
 会社の副産品、主夫と同居の世帯マン
 夫と妻とあつめて、でも愛情がほのぼのしてはく…
 おと外にいた夫の王国か？
 おと家に入った妻の城か？

十二国記シリーズ

小野不由美

日本の普通の女子高生陽子はある日突然十二国と
 いう異界に投げ出される！
 襲ってくる妖魔、信じる者からの裏切り。
 これでもかといふくらい苛酷な戦いを強いられる。
 壮大な異世界ファンタジー。

南国の翼

小野不由美

王も失い、衰退していく国を憂い、
 王になるべく立ち上がったのは12歳の少女だった一。
 『十二国記』シリーズの5作目にあたりますが、
 シリーズを読んだことばかりでも問題なく楽しめる冊。
 何かを動けたければ、大切なものは、まず自分から
 行動することだと、強く感じさせられる物語です。

鴨川食堂

柏井壽

帰郷した日の思い出のそばには必ず
 食がある。少年、手紙ばかりから思い出の
 味とそばし出し再現することで
 過去にとらわれず一歩前進させてくれる…。
 寂しさをやっとなを吹き飛ばしてくれるお話です。

ピンクとグレー

加藤シゲアキ/著

「アイドルが書いた本でしょ？」なんて、食わず
ギライはもたないない!!
現役アイドルだからこそ描ける、胸が苦しく
なるようなリアリティ。映画化前にどうぞ。

デルフニア戦記

手塚 明

「これを読まずしてファンタジー好きは
名乗れない！」と、きつて過ぎるほどの面白
個性豊かすぎるキャラクターたち、
セリとりに腹筋がよじれるほど
笑えるに、ラストはしりぞかせてくれる名作です。
長編に匹敵する、まずは第1部、4巻まで読んで
みてください。

147ハルツの警鐘

川瀬七緒

～法医昆虫学で？～死体の周りの虫から犯行を
分析する法医昆虫学。一匹の虫がいることで解かる謎が
あり、暴かれた真犯人がいる。理系女子の法医昆虫学者も
魅力的。検屍のシーンも吐きそうなくらいリアルで
映像だけで行く。臭いまで伝わってくる描写だ。

センセイの鞆

川上弘美

70代のセンセイと30歳のツキコさん。
静かに、だだど 確実に進んでいく2人の関係の
とこも色いする。一緒にいる時も離れて袖手も
想い時も、切なく優しい時間が流れる。
大人は2人の、どこかどこか、永の恋のような
恋愛小説。

掌の小説

川端康成

「雪風」や「伊豆の踊り子」で有名な
川端康成の短編集です。
心あたりにする話から ちとずる話、おとせ話の
ようなもの、色んなジャンルがつまっています。
さら、と純文学を読んでもいい方、どうぞ!

買おうかどうか?

岸本洋子

著者が多岐にわたり購入した全24品の
夏衣物の題名と結果が、自己評価されたエッセイです。
人の失敗は楽しく読めるけど、自分の購入したものが
どうだろう?と読んで後悔で氣になります。
あはれも冷静に自己評価してみませんか?

厭な小説

品越夏考

厭な子供、厭な老人、厭な扉、厭な先祖、厭な彼女、
厭な夜、厭な小説の7編のお話にあわせて、
とんととて厭な話です。
読後は厭な気分になること間違いです。可なりの人に
おすすめはできません。
それでも興味があるという方は読んでみてください。

百器徒然袋

京極夏彦

著者の代表作「百鬼夜行シリーズ」の探偵。
榎本洋礼三郎が大暴れ!
調査の推理も面白い。眉目秀麗が合無しのほど破天荒な
探偵(とそーと)の、せにほかに「妖怪」という人の
業と一刃両断する様はスリルと解明にうつつ。
妖怪好きは勿論、ホラー、怖い方も問題なく読める
作品なのでぜひ一読を。

神の手(上下)

久坂部羊

がんの末期で激痛に苦しむ若者の安楽死を手助けた医師とそれを訴える若者の母。安楽死問題について考えさせられます。現在の医療現場が抱える問題や闇に政界の陰謀を絡めかけた医療ミステリーで、現役医師が書いているだけありリアルな内容。あという間に読んでしまいました。

失物屋マヨヒが

黒史郎

幻の商店街にある駄菓子屋マヨヒがは奇妙な少年マヨイががいる。彼に会えば失くしてしまった物を取り戻すことができるらしい。それが亡き人、だとしてみても…。神か？悪魔か？少年とめぐる優しくも怪しい物語。

いとみち全3巻

越谷才助

引込み思案で酷い津軽訛りの高校1年生の相原いとが自分を变えるために迷ったのはせいのメイド変装。うまく挿身できます。泣いたり、落ち込んだりしながらも周りの人達に励まされ、成長していく等にも目が離せなくなります。表紙のメイド服に三味線E将の意味とは？

アリス殺し

小林泰三

もし、夢の世界で殺人事件が起きたとして。もし、それと同じような不審死が現実でも起きたとして。もし、夢の中であつたか犯人とされ、処刑されたがら現実世界でのあつたはどうか(なってしまう)でしょう。人によっては好き嫌いの分り分る作品です。

これが佐藤愛子だ

佐藤愛子

佐藤愛子。面白さか、ぎゅっと話まっています。思わず大笑いしてしまうこと間違いない。佐藤愛子の勢いが最も強くあふれているエッセイ集です。

定本 岳物語

権名誠

権名誠さんの長男、岳君の幼稚園から中学入学までの成長物語。親として男として権名さんの少年への愛情が伝えます。釣り、キョウ、カヌーの話もわくわくします。そんな岳君も、現在は3人の父親に囲り、権名さんは「じいじい」に…。「三匹のくじら」もあつたので。

くちぶえ番長

重松清

一輪車とくちぶえの上手な転校生「マコ」。誰よりも強く優しく友達思いの「マコ」。この巻に会ってみたいからなーと思ひます。この話と読みたいの両方キョーとあります。

東京バンドワゴン

小路幸世

下町の古本屋が舞台の大家族物語。古き良き昭和の大家族を思わせるような登場人物たちの魅力的です。人情と「LOVE」を大切に日常で起きる様々な事件を家族みんなで解決していきます。シーズを過ごすごとに家族が増え成長していくの面白いです。

蛟堂報復録 鈴木麻純

かじじみの「あの本」を使って 陰陽師の偵探と
暗黒短編集です。各話を読むごとに、「あ、あの本か」と
思うと間違、甘いです。紹介者が個人的に好きなのは、
第一巻収録の「清姫」です。「あは使、？「報復」とするといふ
斬新なアイデアに驚いたのと、大好きな「怨道成子」が
使われて、複雑さ充分でした。

善人はなぜまわりの人を不幸にするのか

曾野綾子

まず、タイトルでがっかりとやられた感で、
長年の闘争としての疑問が湧くと、目からうろこした
良かれと思えてやめておいて、たいてい相手は
ろとおく思っているよな、と年齢を重ねて見えて
くると、逆に見えにくくなることあるんだぜーと思わ

消失グラデーション

長沢 樹 / 著

あまりに映像化 不可!! 世の中に娯楽が
あふれている 今だからこそ、本を読む事で
しか味わえない 興奮を どうぞ!

第31回 横溝正史 ミステリ大賞



みをつくし料理

高田 郁

時代小説好きの方もそうでない方もどうぞ。
出てくるお料理も思わず食べたくりますが
主人公の前向きな生き方と登場する
人々の絆が心に
涙が出てしま、ます

坊っちゃん 夏目漱石

漱石が留学していたイギリスから帰国後に
書いた作品。東京にいた主人公が教師として田舎の
学校へと赴く。そこで他の教師たちや生徒との
いざこざが描かれています。漱石の作品の中では
比較的短く、読みやすく、社会風刺が面白いです。
登場人物たちの言動に、はっとさせられることわ。

トリプルフェイスの悪郎

一目盛りに入るたびに 三重殺や一
三重殺の案山子から送られてきた予告状から
事件は始まる。
きと読んだら「してやられた...!」と思うと思います。
私は思いました。斜述トリックの巧みに使われており
全く展開が読めませんでした。
西尾維新では物語シリーズも
オススメ です。

西尾維新

ひまわりのからちゃん

西川つばさ

小学校で生まるるからちゃんかたはんかすひと
呼ばれていたからちゃんが5年生にむくま
転校先で黒田先生と出会う。はんな
まわっていく物語です。
嬉しいことや、そして涙と感動が
たくさんあった作品です。

ボクの妻と結婚して下さい

樋口卓治

余命6月の放送作家。最後の企画は自分が
いなくなるまでに家族を支えてくれる人を探すこと...。
信頼できる仲間への助けを求めながら奔走する傍ら、
果たして妻の結婚相手を見つけることができるのか?

♡ クララ白書 ♡

氷室冴子

中学時代に読んだ一冊。女子寮、女子校の先輩、オタク・ツンデレ男子(当時の流行言葉は甘かった)まさに青春の王道といった感じ。舞台が札幌だったため情景が手に取るようにわかりました。近年、作者の方がお亡くなりになり、懐かしくて読み直しましたが、まったく何の良かたなのか、今とあえては理解に苦しむばかりです。

ようこそ地球さん

星新一

昭和47年初版発行ということに驚愕せざる負えない星新一の短編集。何冊経った今読んでも物語1つ1つが斬新で楽しい。社会のブラックジョークがスリロイズとびりとても面白いです。たった1話でもたっぷり満足できるので、忙しい方や長編は苦手という方にもオススメできる一冊です。

ストロベリーナイト

誉田 哲也

姫川玲子主任がとにかくカッコいい！
菊田のようば 部下がほしい…。
実写版にもはまりましたが リアルに
姫川班の復活を心から 願っております。

正直

松浦 弥太郎

どこへでも行く。
成功の反対は失敗ではなく
何もしないこと…。
松浦さん自身の人生がしみじみ伝わる一冊です！

砂の器 上・下

松本清張

学生のころに読み、衝撃をうけて、以来何度か読み直している作品。二人の刑事の執念の捜査と奥に潜む犯人の深い心の闇に心動かされました。以来映画もドラマも数々見ておりますが、清張の濃厚な文章を超えるものはなく、軽い小説ばかり読んでいないとこの作品を読み直す…という感じですよ…。

風が強く吹いている

三浦しほん

この世に、一生懸命な人と、一生懸命に描く三浦しほんさんです。毎年お正月に、みんなで見るとは描き続けていた。この本を読んだ後は、選手一人一人を一生懸命に熱く応援したくなりました。来年のお正月も、さっさと見たいです。

神さまたちの遠く庭

宮下奈都

北海道の中央部、トムラウシハ家族5人、一年間限定で移り住んだ際の日々の出来事をつづったエッセイ。小中学校の全校生徒は十数人。大自然の豊かさと厳しさ。北海道で暮らしている私たちでさえ未体験のこと、今年、タイミングでしか経験出来る良いことを通じて成長していく子どもたち。夢に感動。

童話物語 上下

向山貴彦

この話の主人公ハチカは、は、と、き、ま、性格が悪いです。一人ぼちで貧しく不幸な暮らしをしているハチカは、人間不信になり、自分が傷つかないように、他人に攻撃的になっています。そんなハチカが妖精と出会い旅をしていくなかで人の優しさに触れ、少しずつ変わって成長していく物語。

海を抱いたビー玉

森沢明夫

- 優しくで癒ゆる作品が多い森沢さんの作品。本作品はポムネットプラスと書いビー玉を中心に読む進んできたります。森沢さんと書かされたファンタジーです。
- 「思う、言う、成る」簡潔な言葉ですが、日常生活をつい心にのらにたること。
- 読むたびに、この言葉も思い出したいものですよ。

恋文の技術

森見 登美彦 / 著



他人の手紙をのぞき見している気分になる書簡体小説。手紙のやりとりから浮かんでくる ちよと おかしな青春にいつの間にか まきこまれてしまいます。

終活ファッションショー

安田依央

一見、全く関係のない言葉がドッキングしたタイトルと「あはたが最期に着たい服は何ですか？」の章にてい出して手にとりました。重い問いかけとはスマートな軽い文体で、さらりと考えさせてくまほり。これほどの人生、大切な人、最期に伝えたい思い。「さて、あはたの選択は...？」もう少し時間があつたら、ぜひくり考えます。

雪女のキス

古典から最先端まであらゆる角度で描かれた雪女小説集です。総勢 22 名の作家が古典的なもの、モダンホラー、怪奇ミステリ、SF 的なもの、新種、メタファーとして雪女を描いています。小泉八雲オリジナルの雪女。どんな風に変身するの、作家の視点も楽しめます。



夜明けの雷鳴

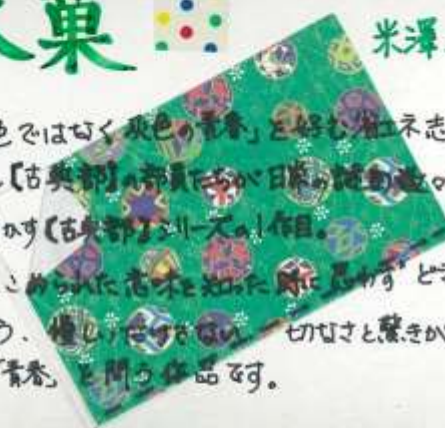
吉村昭

江戸末期～明治期の医師、高松凌雲の話。江戸末期の箱館戦争に医師として参加。箱館山の麓で裕福な人も貧しい人も、敵も味方も分け隔たなく治療する...。当時の状況で、敵味方の区別せずに治療をするとは、下午はら自分の命の危険を伴うが、それでも志を貫いた彼の姿を知って谷だしい。

氷菓

米澤穂信

「バウ色ではなく、灰色の書香」と呼ぶ、志田の主人公と【古典部】の部長たちが日本の随動遊園を解き明かす【古典部】シリーズの1作目。題名にこめられた意味と似た時に思わすどまりとていまい。懐かしい感じが、切なさや驚きがちりばめられた「書香」と問う作品です。



深夜特急

石坂洋次郎

小説派の人でもこれを読めば、小説～ノンフィクションの線を味わえます。淡々とした文章の中に、臨場感があり、ぐいぐいと読者の心に引き込まれます。

富士日記 (上・中・下)


武田百合子

～日々淡々と～ 毎日三食をきちんと作って食べ (たは元気で) 特別なことをするわけでもないが、家族が一日を共に過ごす、日々暮らしていくことが、幸せなんだなあとしみじみ思わせてくれる。いつまでも、いつまでも 家族全員でいられるわけでは、ないから...



パリっの国連で 夢を食う。 川内 有緒 / 著

約2000倍の倍率を勝ち抜き、国連に転職した30代女性の、パリでの5年半におよぶ体験をユーモラスに描いたライフストーリーです。国連職員 採用試験や仕事内容、世界各国出身の同僚、上司たちのこと、パリでの生活のことなど、めったに知らなかった世界が描かれています。読み終ると、爽やかな気持ちになりました！



主夫になろうよ!

佐川 光晴

この本をリビンのソファ族に何気なく(ぬきみどりのチズマのように)置いておきます。ふと見ると、手にとるにはおぼろとめらんでいる夫がいるはず...

世の中のママが感じている不満や不安、息抜きや幸せを同じように体験している主夫の話に思わす顔、たまには「男性にも母性あり!」

不思議の国のアリス

ルイス・キャロル

ちと一度は読んだことがあるであろう「不思議の国のアリス」。絵画の世界観とユニークな登場人物、変わった言葉遊びを楽しめる読むことができます。ぜひ、鏡の国のアリスも一緒に読んでみたいですねとほめています。また様々な人、読んでみる作品もぜひ読み比べしてみるのも面白いと思います。



わたしを離さないで

カズオ・イシグロ

カズオ・イシグロの中で一番好きなお作品。16歳まで全寮制の学校へルシムの中で、外の世界を知らずに育ったキミー。そこに通う生徒たちは長く生きられない運命。映画もよかったです。

はるかかなた わがラスカル

スターリング・ノース

「理想の息子」テレビアニメを見たときに「ラスカル」心わたい スターリング少年に感動した。自分の息子もスターリングのように育ってほしいと思った。動物好きで優しいところは理想どおりだが体格がなんともゴツイおんなのスターリングである。



賢者の贈り物 恋人たちの風景 O.ハズリー

何度読んでも感動します! 貧しい夫婦がXmasプレゼントを買う為、お互いが自分の一番大切な物を売り... 愛する人達にふたりと大切な物を手放してはたすかじ、相手と想う気持ちという最高のプレゼントと贈り合った愛あるゆるストーリーです!

カイト・ランナー

カールド・ホッセン

舞台はアフガニスタン。王政の廃止、ソ連の侵攻、タリバンの台頭。激動の時代に人権が奪う理由で主従関係が決まっていたアミールとハッサン。十二歳の冬、アミールは臆病が中々にハッサンと裏切り取り返しのつかない過ちをおかしてしまふ。読むのは辛いですが... 皆々是非ご一読を!!

ミシャエル・エンデ

～時間・お金・ファンタジが教えてくれたこと

池内 紀、小林エリカ、子安美知子

『モモ』や『はてしなき物語』の作者 ミシャエル・エンデの人生・作品言葉に触れることができる1冊です。エンデが日本人と結婚していたこと、傑作が生まれる背景を知って、再びエンデの作品が読みたくなりました。エンデが考える「時間」や「お金」のことは 現代人へのメッセージのように思えます。

10月アイスランドの首都レイキヤヴィク、北の湿地にあるアポートで老人の死体が発見された。

湿地

ア-カシテリル・イトリダツシ

卒業的殺人の、
 だが現場に残された謎のメッセージの事件。真相を究めた。
 犯罪捜査官エレンテリルが辿りついた犯人を以て真相とは？
 ナラス。謎案の連続変遷の作者が描く北欧ミステリ。

悪童日記

アゴタ・クリスト

第二次世界大戦中のブダペストから疎開し、祖母のもとにあづけられた双子の少年たち。二人は自分たち自身に起すこととエノートに纏ることにした。
 事実のみを書くというルールを課して、ハンガリー出身の亡命作家アゴタクリストの処女作！
 続編にあたる『ボリカ』の証。第三の嘘もあり。

星の王子さま

サン・テグジュペリ

何程前にも印象に残る不思議な、
 「この王子様は誰か？」人のアソビのお話
 話です。ふとした瞬間に心がワクワクして
 今までの暮らしと自分自身を省みることが
 いたことと思ひ出させてくれます。
 作者の魂を挿絵も可愛いです。

六人目の少女

ドナト・カッリー

森で見つかった六本の左腕が連続少女誘拐事件の被害者5人のものと判明。残り1人は誰なのか。
 犯罪行動科警部・持捜班と失踪捜査のエキスパートが犯人を追う。パンカレラ賞、フランス国鉄ミステリ大賞、マッカロ-文学賞など数々の賞を受賞したカッリカスベンス。

まよの猫村さん

阿しより

かごごの奥取嬢。猫村の家のオムレツとカレーが美味い。
 ぶちぶち山ごごから、けろろいしたり、つめとぎまじりたり。
 派遣先の女神家の面おもてまに出るリゼットの不良も
 けろろごごに、おひたかおんごご愛らしい。
 「カーカ、猫村さん」は、編集部の活躍は、ます。

毎日かあさん

西原理恵子

子育てや、こども、家族っていいね...と
 思わせてくれる作品だと思います。
 西原理恵子風の、一見だけ見た感のありながら
 読んでい、やはり何か深くココロに
 残っていくものがあります。

猫なんか呼んでもこない

杉作

フクロウと無愛想な黒猫。実話。
 無器用同士(?)。熱い絆にこちら胸がアツくなります。
 ほろほろの動物マンガかとはひと味違った
 切なく泣ける猫マンガ。

るきさん*

高野文子

のんびりしているマイペース、どこかハンパだぞ
 にくめない魅力がある「るきさん」。おんなのこに日常生活を
 描いたマンガです。派手な描きかた、真摯な生活と愛(は)
 近は見ては長持ちか知りませぬ。対照的他人「るきさん」と
 比べられ、思ひませぬ、さしやうことが、いほしは...

るきさん

一月分の仕事を一週間で終わらせ、あとは図書館に行ったりしてのんびり過ごす。そんなるきさんの生活に憧れます。

- マイペースな道のり。るきさんと
- せわがちな流行りもの好き
- えらみとの友人関係も対照的に面白い。

高野文子

寄り道ふらふら外国語

黒田龍之

このおじさん面白いんです。基本はロシア語教えてるおじさんです。ただ、ロシア語だけじゃなくていろんな外国の言葉を知って、いろんな国に行ってる。そんなおじさんがメジャーなヨーロッパの言葉についてエッセイを書きました。お洒落伊西、どこかに興味があふはせむ。

ファミリーコンピュータ

1983-1994

東京都早稲美情報館/企画監修

遊んだり、思い出が詰まったゲームは見つかりましたか？約11年間に発売されたソフト1252本の早夏で紹介されています。懐かしい110ページと見ながら当時を振り返ってみてはいかがでしょうか？

おりがみはこ

布施知子

三角形から八角形の箱まで、色々な箱の折り方がわかりやすく図解されています。種数の紙を組み合わせて作るのを楽しんだ仕上げに、なるため、お菓子や小物など、ちょっとした贈り物にも喜ばれます。小さな紙で色違いとたくさん作って飾りも楽しめます。紙は紙を折ってみてください。

世界で一番美しいレントゲン図鑑

ニック・ヴァーシー

“内なる美しさ”。X線写真で表現される物の構造の世界。普段は見られない中身のデザインの美しさに気付くことができます。読んだ後は思わず自分の持ち物の中身はどうなっているのか、想像したくなります。

南極大陸上・下

白川美員

南極大陸の全貌が余すことなくこの2冊に収められている。雪と氷の世界に昇る太陽の軌跡や氷河の表情、皇帝ペンギン、etc. どのページを見ても日常を忘れ引き込まれます。白亜の大陸の神秘を感じて下さい。

ポケットさんの本

内海慶一

“ポケット”とはすばゆい“雑学”である。絶対見たことかあるポケットさんの本。いつもお道の生活に潜む危険を自ら体験して検証、おこなっているポケットさんのこと。そんな世界中にある所にいるポケットさんの書いている本です。今日も本の仲間いるポケットさんは頑張っている…!

絵本の絵を讀み解く

杉浦龍茂

世に書かされた本に書かれていない本の視座を感じ取ることもできる本です。色使い、レイアウト表現方法など人の作者のこだわり。『どれどれ、お当り』と紹介されている本と今にと、別冊がまたたくまに、絵本作家と読者の架け橋である著者の「身振り」だけでなく、心臓まで「本」の言葉が深い!